



### ○フィールドワークのすすめ

24日(水)の探究学習では、探究フィールドワークの行先を調べました。テーマが決まっている子は自分のテーマについて調べるため、テーマが決まっていない子はやりたいことをはっきりさせるために、関係する施設や興味ある施設にフィールドワークに行きます。候補として出したものや子どもたちが探したものは以下の通りです。

- ・名古屋市科学館
- ・でんきの科学館
- ・東山動植物園
- ・名古屋港水族館
- ・名古屋市東谷山フルーツパーク
- ・戦争と平和の資料館
- ・JICA なごや地球ひろば
- ・世界淡水魚園水族館、アクア・トトぎふ
- ・トヨタ会館
- ・トヨタ博物館
- ・世界民族博物館 リトルワールド
- ・リニア・鉄道館
- ・レトロでんしゃ館
- ・ストーンミュージアム博石館
- ・昭和日常博物館
- ・貨幣・浮世絵ミュージアム
- ・明治なるほどファクトリー
- ・名古屋市営交通資料センター
- ・名古屋刀剣博物館(※5月1日オープン)

子ども達は調べながら、「どれも行ってみたい」「他の場所もおもしろそう」と口々に言っていました。探究フィールドワークの候補となる場所にいくつも興味を示すなんて、とてもすてきなことだと思います。

行きたい場所として選ばなかった場所も、休日にぜひご家族でフィールドワークに出かけ、興味や関心を広げてみてください。

わたし自身も子どもといっしょに名古屋港水族館に行ったついでにそばにある「南極観測船ふじ」の艦内展示を見て、南極観測に強い興味をもちました。しばらく南極一色になってしまって、色々と南極にまつわる本を読んだり映画を見たりしました。

フィールドワークがきっかけで、親も子どもも、一緒になってできる探究になったらとてもすてきですね。



## ○家でできるとよいこんなこと

学校でも探究学習やプロジェクト学習、行事等を通して、様々な体験的な活動を行っていますが、以下のようなことをご家庭でも取り組むと、子どもは興味や関心を広げ、体験的な知識を獲得し、好奇心や追究心をもちやすくなります。

### ・生き物採集、飼育

→どんな場所にどんな生き物がいるのか行く前に調べたり、捕まえたものの飼い方を調べたりと、知識だけでなく学ぶ姿勢も培われます。情緒の育成や環境への関心など様々な教育的な効果があります。ご家庭で飼えない場合は、大体の生き物は教室で飼育可能ですのでご相談ください。

### ・実験、観察

→「小学生 実験」で検索すると、楽しそうな実験がたくさん出てきます。オンラインショップで様々な実験キットも販売しているので、自宅でも取り組みます。星や月の観察などもおもしろいです。私は大豆からモヤシを作ろうと実験と観察をしましたが、失敗して途中でカビが生えてしまいました。

### ・工作、組み立て

→どんな工作でも教育的な効果は高いですが、作ったもので遊べるとなおよいです。ミニ四駆はモーターと車の構造、ゴム動力の模型飛行機はゴムの力と飛行機の仕組みを組み立てながら理解することができるので、乗り物好きの子には特におすすめです。継続して取り組むと空間認知力も自然と高まっていきます。

### ・絵画、造形

→お絵描きや色塗り、粘土遊びは、創造性や芸術性が磨かれます。指先を活発に使うことは、脳の発達にもよく、思考力や記憶力を高めます。さらに、完成品を飾っておくと、子どもの自己肯定感や創作意欲も高まるそうです。

### ・栽培

→野菜を育てやすい季節です。野菜を育てると植物の成長の様子を間近で見れますし、食育の面でも効果があります。「しっかり育てよう」という責任感も育ちます。我が家も簡単なものばかりですが、毎年夏野菜を育てています。

家の中だけでなく、旅先で「〇〇体験」のような形で取り組むこともできるので、お子様の実態に合わせて、機会があればぜひお取り組み下さい。